



# 高雄日本人学校学力向上プロジェクト「児童生徒の確かな学力の定着に向けて」

学校紹介リーフレット  
【学力編】

校内研究「一人一人が課題意識をもち、対話を通して学びを深める児童生徒の育成～高雄スタンダード・ICT活用による授業づくり～」



## 高雄日本人学校が考える「対話的な学び」とは

◇高雄日本人学校では、各教科における基礎的・基本的な学びの力を基盤として、「子供同士の対話」「教職員や地域の人との対話」「先哲の知恵(生き方)との対話」等を通じて、一人一人がもつ知識・技能を確かなものとし、思考力・判断力・表現力を伸ばし、自己の知見を広げる学びを【対話的な学び】として捉えています。このことを繰り返すことにより、児童生徒は学びに向かう力を習得していくものと考えます。【イメージ図】

⇒本校は、小規模校だからこそ様々な手法で対話的な学びが可能で、自分一人では気が付かなかったことでも、対話を通して、自分と他者(友達・教師・資料)とを比較・関連・総合させることにより、考えを広げたり深めたりすることができます。そのための手立てを、教師が授業や諸活動の中で効果的・意図的に仕組んでいます。

⇒児童生徒が「対話」を通して学びを深め、確かな学力を身に付けられるように、各教科の特性に応じて、適切な手立てを講じながら、全職員が一丸となって授業力を高めています。

### 学びに向かう力

子供同士  
教職員  
地域の人  
先哲の知恵

学びの深まり

対話

スパイラル

- ・知識・技能の習得
- ・思考力・判断力・表現力
- ・自己の知見の広がり

## ～学力向上のための特色ある教育活動～



### ICT教育の推進

◇高雄日本人学校では、全児童生徒にパソコンの1人1台環境を整え、日頃の授業で文房具的にICTを活用する教育活動を推進し、必要に応じてオンラインによる遠隔授業も行っています。

◇学習支援ソフト<<ミライシード>>の「オクリンク」や「ムーブノート」、<<デジタル教科書>>、<<Google Classroom>>などを活用することで、協働的な学習の新たな形態を模索して、主体的・対話的で深い学びの実現を目指しています。

◇また、<<ミライシード>>の「ドリルパーク」を授業中に用いて一人一人の学習進度や学習到達度に応じた指導の個別化を進めたり、家庭学習で活用して学習の個性化を図ったりすることで、個別最適な学習を実現し基礎学力の向上を目指しています。

### 中国語教育

◇本校の台湾人講師2名による中国語指導を行っています。小学部1年生は週2時間、小学部2年～中学部3年生までは週1時間実施しています。中国語の簡単な単語から、基本的な会話まで、生きた中国語を楽しみながら学習することができます。

◇一方で、台湾での生活が長く、日本語の使用に不安がある児童生徒には、「日本語教育」も実施し、児童生徒の実態に応じた言語教育を実践しています。



### 英語教育

◇小学部3～4年の外国語活動、小学部5・6年の外国語科、ならびに中学部全学年の英語科において、英語科教員または担任とALTによるチームティーチング指導を行っています。

◇さらに、小学部1・2年でも、ALTによる指導を中心として、簡単な英単語や英語独特の音声のリズムにふれ、楽しみながら英語学習に取り組んでいます。子供たちは英語の時間が大好きです。



### 学力向上の時間

◇毎週火曜日と木曜日の朝の時間(7:55～8:10)を朝学習の時間と位置付け、全校で基礎的・基本的な学習に取り組んでいます。

◇小学部1・2年では、教育課程の中に「学力向上の時間」も設定し、各教科の授業の時間だけでは定着が不十分な基本的な「読み・書き・計算」の確かな定着を目指し、取組を進めています。



### 一人一授業(互見授業)の実践

児童生徒の学力向上のためには、教師の授業力向上が不可欠です。高雄日本人学校では、全職員が「一人一授業」として、校内研究の年間計画に沿って、研究授業を実施しています。

教師がお互いに授業を見せ合い、授業後は「対話的な学びができていたか」などについて協議し、児童生徒の学力向上のための授業づくりに努め、小学部と中学部、各教科、そして、出身都道府県の枠を超えて、お互いの授業を磨き合っています。

